

男女共に豊かに生きるために

～委員の女性登用率目標を50%に～



え とう ち よ こ
恵 藤 千代子

質

市の審議会の女性委員の登用率は、県内の平均値より低く、女性のない審議会もある。委員への女性登用は、

答 市長

今後、公募枠拡大、職指定構成枠見直し、女性人材リストの整備などを行います。次期委員会の切り替え時から、女性の登用率の目標を50%に定め、積極的に推進します。

質

市職員の女性管理職の登用は、

答 市長

適材適所の人事を行っております。今後、職域の拡大を含め、前向きに取り組んでまいります。

質

女性の人材発掘、確保、養成は不可欠であります。今後の活用策は、

答

市長

国の「緊急雇用創出事業」補助率100%を活用し、女性の人材リスト作成、各種審議会への登用や講師などに活用していきたい。

質

DV（配偶者などからの暴力）の現状と対策は、

答 市長

市の相談窓口は、生活支援課となっております。

相談状況は、平成20年度は5件、平成21年度は8月末現在で5件です。

被害者の安全確保が最優先となることから、安全な避難場所を確保するとともに、相談しやすい体制づくりに努めます。

質

推進体制の充実、強化を、

答 市長

現行は、人権同和対策課で一班一人体制です。

来年度の行政組織の編成に向けて、前向きに検討したい。



エイトピアおおのにて



第1回女性分団会議

「農業労働災害共済」 の復活を

～精査の上、新たな制度を検討～



わだ てつ はる
和田 哲治



農作業にも安心な補償を

質 旧大野町で農業者より高い支持と評価を得ていたこの制度は、現在でも廃止されたままである。
その復活と市全域を対象とする制度化を求める。

答 市長
合併時の調整方針に明確に記載されていないにもかかわらず、現在まで実施していないが、今後、この内容を精査して、平成22年度当初には「豊後大野市農業労災保険加入組合」として運営してまいりたいと考えております。

「地籍調査」の 事業拡大を

～今後40年間で
完了する計画～

質 平成22年度よりスタートする第6次十年計画の策定にあたり、未実施地域への促進と事業のさらなる拡大を求める。

答 総務部長
現在、犬飼町と緒方町が完了しているが、残る5町については、今後40年間で調査完了をにらんだ計画となっています。
計画達成のため体制の整備に努めます。



第3回豊後大野っ子市議会

「子ども市議会」の 定例開催を 複数回の開催は困難

質 近年、若者の政治不信や低投票率が話題になる中、身近な地方政治である行政や議会に興味や目を向け、その大切さを知ってもらうため、議会定例会に併せた「子ども市議会」の定例開催ができないか見解を伺う。

答 教育長
本年度で第3回目となる「豊後大野っ子市議会」が、8月に開催されました。
ご質問の開催目的に近づいていると考えられるが、今後は、中学生についても意見交換会などに取り組みたい。今後、年1回の開催でその充実を図りたい。